

辞めて長期インターンに専念した（18名）

■ 理由 1：就活で他の学生と差をつけたい（5名）

Aさん（21歳 男性）

周りがアルバイト中心の中で、実務経験を積めば就活で明確な差になると感じ、思い切ってバイトを辞めました。

Bさん（22歳 女性）

説明会や面接で語れる経験を増やしたくて、長期インターンに時間を集中させる選択をしました。

Cさん（20歳 男性）

就活で「何をしてきたか」を重視されると聞き、バイトよりもインターンの方が武器になると思いました。

Dさん（21歳 女性）

アルバイト経験だけでは弱いと感じ、実務ベースの経験を優先しました。

Eさん（22歳 男性）

同じ大学の友人と差別化したくて、環境を変える意味でも専念する決断をしました。

■ 理由 2：ビジネススキルを早くから身につけたい（5名）

Fさん（19歳 男性）

将来起業も考えていたため、少しでも早くビジネスの現場に身を置きたいと思いました。

Gさん（20歳 女性）

マーケティングや営業のスキルは早く身につけるほど有利だと考え、バイトをやめました。

Hさん（21歳 男性）

中途半端に両立するより、集中した方が成長が早いと判断しました。

Iさん（22歳 女性）

社員の方と同じ目線で仕事をするには、時間をしっかり確保する必要があると思いました。

Jさん（20歳 男性）

バイトでは身につかないスキルを習得したくて、優先順位を変えました。

■ 理由 3：将来の進路に悩んでいて選択肢を広げたい（4名）

Kさん（21歳 女性）

自分が何に向いているのか分からず、まずは実務経験を積もうと思いました。

Lさん（22歳 男性）

業界研究を兼ねてインターンに専念することで、将来の選択肢を増やしたかったです。

Mさん（20歳 女性）

アルバイトを続けていても将来像が見えず、環境を変える必要があると感じました。

Nさん（21歳 男性）

実際に働いてみないと分からないことが多いと思い、時間を割くことにしました。

■ 理由 4：成果を出して正当に評価されたい（4名）

○さん（22歳 女性）

成果に応じて評価される環境に魅力を感じ、インターン一本にしました。

○さん（21歳 男性）

アルバイトよりも、実力で評価される方がモチベーションが上がると思いました。

○さん（20歳 男性）

数字や成果で評価される仕事をしたくて、集中できる環境を選びました。

○さん（22歳 男性）

頑張りがそのまま評価に反映される点に惹かれました。

辞めずにバイトと両立していた（9名）

■ 理由1：生活費や学費をバイトで賄っている（3名）

○さん（21歳 女性）

生活費を自分で出しているため、収入源を完全に手放すのは難しかったです。

○さん（22歳 男性）

学費の一部をバイト代で賄っており、継続する必要がありました。

○さん（20歳 女性）

収入が不安定になるのが不安で、当面は両立を選びました。

■ 理由2：初めてのインターンで不安が大きい（2名）

○さん（19歳 男性）

長期インターンが初めてだったので、いきなり一本にするのは怖かったです。

○さん（20歳 女性）

続けられるか分からず、保険としてバイトを残しました。

■ 理由3：学業とのバランスを慎重に取りたい（2名）

○さん（21歳 男性）

授業やゼミが忙しく、まずは無理のない形で始めたかったです。

○さん（22歳 女性）

成績を落としたくなかったため、時間配分を慎重に考えました。

■ 理由4：長期インターンが自分に合うか試してみたい（2名）

○さん（20歳 男性）

実際に働いてみないと分からぬと思い、様子見て両立しました。

○さん（21歳 女性）

合わなかった場合のリスクを考えて、すぐには辞めませんでした。

■ その他（3名）

ABさん（19歳 女性）

時期によってはバイトを減らし、最終的にインターン中心に移行しました。

ACさん（22歳 男性）

短期のバイトだけ残し、ほぼインターンに時間を使っていました。

ADさん（20歳 女性）

テスト期間のみバイトを優先するなど、状況に応じて調整していました。